



構成ツール

- [構成ツールの概要, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified CM の管理, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Serviceability, 3 ページ](#)

構成ツールの概要

このガイドの手順では、次の 2 つの構成ツールを使用する必要があります。

- Cisco Unified CM の管理
- Cisco Unified Serviceability

この章では、ツールとそれらにアクセスする方法について簡単に説明します。

Cisco Unified CM の管理

Cisco Unified Communications Manager の管理は、Unified Communications Manager ノードの設定を個別に手動で変更できる Web ベースのアプリケーションです。このガイドの手順では、このアプリケーションを使用して機能を設定する方法について説明します。

一括設定タスクを実行する必要があり、設定プロセスを自動化する場合は、Cisco Unified Communications Manager 一括管理ツール (BAT) を使用して同時に多数の変更を設定に加えることができます。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド*』（<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>）を参照してください。

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] へのログイン

次の手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager Administration にログインします。Cisco Unified Communications Manager Administration にログインした後、ウィンドウに Cisco Unified Communications Manager の現在の状況を示すメッセージが表示されることがあります。たとえば、Cisco Unified Communications Manager で次の状況が確認されることがあります。

- Cisco Unified Communications Manager は現在、スターター（デモ）ライセンスで動作しているので、適切なライセンス ファイルをアップロードします。
- Cisco Unified Communications Manager は、現在、ライセンス数が不足している状態なので、追加のライセンス ファイルをアップロードしてください。
- Cisco Unified Communications Manager は現在、適切なソフトウェア機能のライセンスを使用していません。この状況では、Cisco CallManager サービスは停止し、適切なソフトウェアバージョンのライセンスをアップロードして Cisco CallManager サービスを再起動するまで開始しません。

次の手順でサーバを参照して、Cisco Unified Communications Manager Administration にログインします。

手順

-
- ステップ 1** 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。
- ステップ 2** Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。
`https://<Unified CM-server-name>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`
ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。
(注) オプションで、ポート番号を指定できます。
- ステップ 3** [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。
- ステップ 4** [Cisco Unified Communications Manager Administration] ウィンドウで、Cisco Unified Communications Manager のインストール時に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします（両方のフィールドの内容をクリアするには [リセット (Reset)] をクリックします）。
(注) セキュリティ上の理由で、無活動状態が 30 分続くと Cisco Unified Communications Manager Administration はユーザをログアウトするので、ログインしなおす必要があります。
-

Cisco Unified Communications Manager Serviceability

このガイドの一部の手順では、Cisco Unified Serviceability アプリケーションを使用して、Cisco Unified Communications Manager ノードでサービスを起動または再起動する必要があります。

Web ベースのトラブルシューティング ツールである Cisco Unified Serviceability は次の機能を提供します。

- トラブルシューティング用にアラームとイベントを保存し、アラームメッセージの定義を提供する。
- トレース情報を、トラブルシューティング用にログ ファイル保存します。
- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool (Unified RTMT) を使用して、コンポーネントの動作をリアルタイムで監視します。
- ユーザによる、またはユーザ処理の結果としてのシステムの設定変更を記録することによって、監査機能を提供します。この機能は、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection の情報保証機能をサポートします。
- [サービスの開始 (Service Activation)] ウィンドウによりアクティブ化、非アクティブ化、および表示を行うことができる機能サービスを提供します。
- 日次レポート (警告サマリーやサーバ統計レポートなど) の生成とアーカイブ。
- Cisco Unified Communications Manager、IM and Presence Service、Cisco Unity Connection が、シンプル ネットワーク管理プロトコル (SNMP) のリモート管理およびトラブルシューティングの管理対象デバイスとして機能できるようにします。
- 1 つのノード (またはクラスタ内のすべてのノード) のログ パーティションのディスク使用をモニタします。
- システム内のスレッドとプロセスの数をモニタする。キャッシュを使用してパフォーマンスを向上させる。
- Cisco Unified Communications Manager のみ : Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting を使用して、サービス品質、トラフィック、請求情報の Cisco Unified Communications Manager レポートを生成します。

Cisco Unified Communications Manager の Serviceability にログイン

次の手順で、Cisco Unified Serviceability にログインします。

手順

- ステップ 1** 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。
- ステップ 2** Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。
`https://<Unified CM-server-name>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。

- ステップ 3** [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。
- ステップ 4** [Unified Communications Manager Administration] ウィンドウで、ナビゲーション メニューから [シスコ統合保守性 (Cisco Unified Serviceability)] を選択します。
- ステップ 5** Cisco Unified Communications Manager のインストール中に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします。
- (注) セキュリティ目的で、30 分間無活動状態が続くとログアウトされ、ログインし直す必要があります。
-